令和二年度　学校文集【令和三年一月】

ひらやま　その八

※今月は終業式・始業式の発表、夕刊デイリー掲載作品です。続きは来月掲載します。

「二学期がんばったこと」

一年　増田幸大

二学期をふりかえって、ぼくががんばったことは、三つあります。

一つ目は、かん字のれんしゅうをがんばったことです。二学期になって、かん字をはじめてならいました。ぼくは、しゅくだいプリントのほかに、ノートにかん字をかいてれんしゅうしました。

「かいまはお、かあさんに、かん字をかきなさい。」

と、がんばったことの二つ目は、かかりのしごとをがんばったことです。ぼくは、いわれなくてもじぶんでかん字のれんしゅうをできるようになりました。

まいにちかしがんばったことのこのことをがんばったことです。ぼくはじぶんでやれるようにがんばりたこのころは、目は、おかあさんとやってないけど、いまは、じぶんでできるようにがんばってきたことができました。

ふりかえりのプリントを見ながらこれからもいろいろなことをがんばってきたいとおもいます。

「二学期の思い出」

三年　平田梨緒

わたしは、二学期楽しかったことが二つあります。

一つ目は、遠足です。その理由は、おくらがはまに行ったからです。ついでに、お昼を食べて、海の近くですなのでそうけいで犬を作りました。

二つ目は、そうりょくしたので楽しかったです。

その日は、二学期のさんかじんぎょです。なぜかというと木曜日がわたしのちくばんで、そのあまりじんがなく、手をあまりあげたくありませんでした。

お母さんがきていたのでがんばってあげて発ぴょうできたからです。

そしてみかんのたしかしたソーランぶしです。なぜかというと次のたしかしたことは、運動会でおどったからです。その日のどうがをみてしったことは、お母さんが、「けいたいでおどっているんだよ。」

と言ってくれたのでがっかりしたけど、お母さんが、「音をきいてはくれなかったのでがっかりしたけど、お母さんが、「音を聞い